

普及項目	その他
漁業種類等	—
対象魚類	—
対象海域	有明海、八代海、天草西海

漁業者セミナーの開催

水産研究センター企画情報室・平田 郁夫

【背景・目的・目標（指標）】

海域環境の悪化、水産資源の減少、魚価の低迷など、本県の水産業を取り巻く状況は厳しい状況にあり、これらの課題解決には人づくりが重要である。そこで、漁業者や関係者に新しい知識や技術、関係法令、最新の情報、他業種との交流の場等を提供する漁業者セミナーを実施した。

【普及の内容・特徴】

今年度の漁業者セミナーは「初心者コース」、「漁業士養成コース」及び「浜の勉強会」により構成した。「浜の勉強会」は、原則、水産研究センターで開催してきた専門コース、必要に応じて現地開催してきた沿岸地域コース及びテーマの緊急性により会場を選定してきた特別講座について、次の事由からコース・講座名を「浜の勉強会」と一括し、テーマ・内容を個別に設定し、現地開催を旨とする方式に変更したものである。

（事由）

- ・現地開催にすることで、出席者の増加、併せてセミナーの効果向上が期待できる。
- ・テーマが流通・消費、付加価値、営漁計画、環境（赤潮等）など複数講座に跨ることがあり、各講座に区分して開催する意義が薄くなった。
- ・最近では、専門コースより沿岸地域コースとして現地開催する事例が多くなっている。

【成果・活用】

「初心者コース」では、熊本市水産担当職員 2 名が受講した。令和 5 年（2023 年）8 月 23 日に水産業概要（ガイダンス）、ノリ養殖の理論、令和 6 年（2024 年）2 月 6 日に水産関係制度・法規（漁業法、水協法）について研修を実施した。「漁業士養成コース」では、8 月 10 日に県北広域本部水産課管内のノリ養殖業者 4 名が、12 月 13 日に天草広域本部水産課管内の漁船漁業者 4 名がそれぞれ受講し、青年漁業士に認定された。「浜の勉強会」は、近年の八代海のタチウオ不漁問題に鑑み、沿岸のタチウオ漁業者を対象に『八代海におけるタチウオの資源生態と漁業状況について』というテーマで開催した。その際、漁業地区・漁業種類ごとに分けて意見交換できるように 8 月 2 日～12 月 15 日にかけて計 9 回実施し、漁業者 76 名、漁協役職員 13 名、市町職員 6 名（延べ人数）が受講した。セミナーでの意見交換、アンケート結果に基づき、水産研究センター内でタチウオ資源管理の可能性について技術的検討が行われている。

【達成度自己評価】

4 目標（指標）はほぼ達成できた（76～100％）



図1 漁業士養成コース
(8/10 県北管内ノリ養殖業者)



図2 漁業士養成コース
(12/13 天草管内漁船漁業者)



図3 浜の勉強会
(8/2 御所浦地区 釣・
流し網漁業)



図4 浜の勉強会
(8/31 龍ヶ岳地区 まき
網・いわし船びき網漁業)



図5 浜の勉強会
(10/4 水俣地区 釣漁
業)



図6 浜の勉強会
(10/14 津奈木近隣地区
吾智網漁業)



図7 浜の勉強会
(11/7 大矢野近隣地区
釣漁業)



図8 浜の勉強会
(12/15 樋島近隣地区
釣漁業)